

授業科目名	言語発達障害学概論	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	熊田 華恵	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 構音器官の形態・名称と機能、構音の発達、音声学的知識、日本語の語音と音声表記等、機能性構音障害にかかる基礎知識を学習する。</p> <p>〔到達目標〕 構音器官の形態・名称が図示できる。 日本語の音声表記ができる。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	オリエンテーション				
第 2 回	機能性構音障害				
第 3 回	構音器官				
第 4 回	母音①				
第 5 回	母音②				
第 6 回	子音①				
第 7 回	子音②				
第 8 回	子音③				
第 9 回	子音④				
第 10 回	構音の発達順序				
第 11 回	話しことばの発達				
第 12 回	構音障害にかかわる要因①				
第 13 回	構音障害にかかわる要因②				
第 14 回	構音の誤りの条件・誤り音の種類				
第 15 回	まとめ				
評価方法	小テスト・宿題10%、期末テスト90%				
教科書 参考図書	〔教科書〕 改訂機能性構音障害 本間慎治編著 建帛社				
	〔参考図書〕 日本語音声学入門 改訂版 斎藤純男 三省堂				
履修上の 留意点	必ず復習をしてください。また、小テストを活用して基本的知識の定着に努めてください。				
メッセージ	機能性構音障害をはじめ、「小児のリハビリテーション」について学生の皆さんと一緒に考える機会としたいと思っています。積極的な意見発表を歓迎します。				